



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月14日

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所 東  
 コード番号 2708 URL https://www.kuze.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)久世 真也  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)後藤 明彦 (TEL)03(3987)0018  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	50,078	4.9	184	△28.0	298	△14.2	225	△14.5
30年3月期第3四半期	47,750	2.1	256	△48.2	348	△39.4	263	△34.9

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 0百万円(△100.0%) 30年3月期第3四半期 1,231百万円(233.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	60 89	—
30年3月期第3四半期	71 19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	24,120	6,004	24.8
30年3月期	22,116	6,050	27.2

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 5,972百万円 30年3月期 6,024百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0 00	—	12 00	12 00
31年3月期	—	0 00	—		
31年3月期(予想)				12 00	12 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	8.2	330	△23.1	380	△30.4	260	△37.4	70 24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	3,882,500株	30年3月期	3,882,500株
31年3月期3Q	181,118株	30年3月期	181,073株
31年3月期3Q	3,701,415株	30年3月期3Q	3,701,427株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績や雇用環境の改善により、緩やかな景気の拡大が継続しました。しかしながら、米中貿易摩擦の影響や為替変動リスクの拡大などにより、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場におきましては、消費者のニーズが益々多様化し、簡便調理品や健康訴求品の需要が拡大する一方で、原料価格の高騰や、人手不足による人件費の上昇などが加わり依然として厳しい状況となっております。

このような状況のもと、安定的な収益基盤の構築を最優先課題とし、中期経営計画「第4次3ヶ年中期経営計画」を定め、新規得意先の開拓及び既存得意先との関係強化、提案営業を重視した営業体制の一層の整備と推進、徹底した物流業務の効率化による物流費の削減、物流システムの導入をはじめとする業務の見直しによる品質向上を進め、引き続き事業ミッションに「頼れる食のパートナー」を掲げ、「お客様満足度No.1」の具体化に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は500億78百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は1億84百万円（前年同期比28.0%減）、経常利益は2億98百万円（前年同期比14.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億25百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、新規得意先の開拓による営業基盤の拡大と既存得意先との取引深耕に努めるとともに、取引条件の見直しや高付加価値商品及びサービスの提案を積極的に行ってまいりました。更に経営課題である物流改善については、センター業務の効率化や商品集約による在庫の適正化、配送ルートの再編などに取り組んでまいりました。

このような結果、売上高は465億43百万円（前年同期比5.3%増）、セグメント利益（営業利益）は5億14百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

#### (食材製造事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社キスコフーズ株式会社が食品製造を行っております。引き続きキスコフーズブランド商品の販売強化と新商品の開発、生産性の向上による効率化を鋭意進めてまいりました。

このような結果、売上高は35億47百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益（営業利益）は3億52百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は1億10百万円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益（営業利益）は85百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ20億4百万円増加し、241億20百万円となりました。これは主として現金及び預金が2億円、受取手形及び売掛金が8億22百万円、商品及び製品が9億14百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ20億49百万円増加し、181億15百万円となりました。これは主として長期借入金が増加し、支払手形及び買掛金が25億47百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ45百万円減少し、60億4百万円となりました。これは主として利益剰余金が増加し、その他有価証券評価差額金が2億16百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は24.8%（前連結会計年度末27.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。現時点での連結業績予想につきましては、平成30年5月14日に公表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,020	5,221
受取手形及び売掛金	7,629	8,452
商品及び製品	2,355	3,269
原材料及び貯蔵品	227	248
その他	644	676
貸倒引当金	△36	△39
流動資産合計	15,840	17,828
固定資産		
有形固定資産	2,184	2,370
無形固定資産	439	440
投資その他の資産		
投資有価証券	2,313	2,027
その他	1,428	1,548
貸倒引当金	△89	△94
投資その他の資産合計	3,651	3,481
固定資産合計	6,276	6,292
資産合計	22,116	24,120
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,755	13,303
1年内返済予定の長期借入金	1,127	1,049
未払金	1,177	1,298
未払法人税等	64	54
賞与引当金	221	149
その他	401	443
流動負債合計	13,748	16,298
固定負債		
長期借入金	1,491	1,077
役員退職慰労引当金	189	201
退職給付に係る負債	214	227
資産除去債務	78	77
その他	344	233
固定負債合計	2,318	1,817
負債合計	16,066	18,115

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	302	302
資本剰余金	291	291
利益剰余金	4,619	4,800
自己株式	△151	△151
株主資本合計	5,061	5,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	935	718
繰延ヘッジ損益	3	4
為替換算調整勘定	35	13
退職給付に係る調整累計額	△12	△7
その他の包括利益累計額合計	962	729
非支配株主持分	26	32
純資産合計	6,050	6,004
負債純資産合計	22,116	24,120

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	47,750	50,078
売上原価	38,699	40,231
売上総利益	9,051	9,847
販売費及び一般管理費	8,794	9,662
営業利益	256	184
営業外収益		
受取事務手数料	51	52
物流業務受託収入	29	29
その他	78	99
営業外収益合計	159	181
営業外費用		
物流業務受託収入原価	44	44
その他	23	23
営業外費用合計	67	67
経常利益	348	298
特別利益		
投資有価証券売却益	16	-
固定資産売却益	-	54
特別利益合計	16	54
特別損失		
固定資産除却損	0	6
固定資産売却損	-	0
減損損失	-	0
特別損失合計	0	7
税金等調整前四半期純利益	364	345
法人税、住民税及び事業税	52	88
法人税等調整額	48	23
法人税等合計	101	111
四半期純利益	263	233
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	263	225



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	263	233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	960	△216
繰延ヘッジ損益	3	0
為替換算調整勘定	△0	△21
退職給付に係る調整額	4	5
その他の包括利益合計	967	△232
四半期包括利益	1,231	0
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,231	1
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	44,165	3,575	9	47,750
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	—	100	120
計	44,184	3,575	110	47,870
セグメント利益	526	362	82	971

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	971
セグメント間取引消去	10
全社費用(注)	△726
四半期連結損益計算書の営業利益	256

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	46,521	3,547	9	50,078
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	—	101	123
計	46,543	3,547	110	50,201
セグメント利益	514	352	85	953

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	953
セグメント間取引消去	7
全社費用(注)	△776
四半期連結損益計算書の営業利益	184

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。